

第3節 子どもの人権を尊重し、豊かな個性を育む環境づくり

計画書掲載ページ	茨木市次世代育成支援行動計画(前期)掲載内容		21年度の取り組み及び実績	担当課 (平成22年4月1日以降)	後期計画掲載内容	
	事業	今後の計画・方向性			掲載ページ	事業
39	保育内容および保育サービスの充実	子どもの生活や遊びを通して、多様な人間関係を築き、集団活動を体験し、子どもの豊かな感性と創造力を養うことができる環境を配慮し、また子どもの発育の姿をとらえ見通しをもった保育を展開していくよう保育内容の一層の充実に努めます。また、子どもの健やかな成長と権利が守られるように、保育サービスの質を確保するため、自己点検を推進し、将来的には*第三者評価の導入を検討します。	各保育所にて「茨木市人権保育カリキュラム」に基づき実施。	保育課	63	「個」を大切に保育
39	心理判定員による巡回指導・面接相談	保育所を巡回し、それに基づき保護者との話し合いや、育児相談を継続して行います。	公立保育所12か所、私立保育所26か所への巡回を実施。 発達検査 342件 面接の実施 392件 カンファレンスの実施 491件 保育観察 240件	保育課	64	心理判定員による巡回指導・面接相談
39	保育所職員への研修	児童や家庭をとりまく環境の変化に対応し、社会のニーズに応えられる保育所づくりをめざし、国の保育指針に基づき、職員の資質を高めるよう研修等を継続して実施します。	各保育所所内研修 12か所、実践報告会(研修) 2か所、「アクションプログラム」研修 5回、障害児保育研修 12回、人権保育研修 8回、夏期研修 7回、保健研修会、人権保育連続講座	保育課	64	保育所職員の研修
39	児童の健康管理	定期的に身体測定、健康診断等を行い、児童の発育・発達の状況を把握し、家庭と連携をとりながら健康増進を図ります。	健康診断を定期的に実施(内科、眼科、歯科、耳鼻科検診、ぎょう虫、尿、視力、聴力検査)。	保育課	64	子どもの健康管理
39	小学校への円滑な移行のために保・幼・小の連携	幼児期の教育と小学校以降の教育との円滑な移行を図るため、保育所・幼稚園・小学校間の連携に努めます。	保育所間、幼稚園、小学校との交流を実施。 保育所・幼稚園・小学校の連携会議を実施。 「保育所・園児童保育要録」にて小学校へ引継ぎを実施。	保育課	64	小学校への円滑な移行のための保・幼・小の連携
40	教育内容の充実	時代の変化に応じた適切な教育課程の編成に努めます。また、幼児教育の重要性を踏まえ、教職員の資質や能力の向上に努めます。	各種大会・研修会の参加。 教員研修会の開催。	教育政策課	64	幼稚園教諭の研修

第3節 子どもの人権を尊重し、豊かな個性を育む環境づくり

計画書掲載ページ	茨木市次世代育成支援行動計画(前期)掲載内容		21年度の取り組み及び実績	担当課 (平成22年4月1日以降)	後期計画掲載内容	
	事業	今後の計画・方向性			掲載ページ	事業
40	幼稚園の運営	女性の社会進出の増加など社会情勢の変化に伴う多様なニーズに対応するため、地域の実情や保護者の要請を踏まえ運営の弾力化を図ります。	幼保一元化のモデル実施園においては、合同保育を実施した。	教育政策課	65	幼稚園運営の弾力化
40	幼稚園の整備	幼児の主体的な遊びが引き出せる環境の整備に努めます。	幼児の安全・安心を確保するとともに創造力を育むことができるような適切な遊具の選定・整備や自然環境等を整備。	教育政策課	64	幼稚園施設の整備
40	幼稚園の預かり保育の推進	「預かり保育」を試行します。	預かり保育の時間延長の拡充を図るために市立幼稚園2園で夏期休業中からモデル実施。また、ほか12園では、引き続き通常の預かり保育を実施。 利用者数 延べ21,784人	教育政策課	54 62 64	幼稚園の預かり保育
40	心理判定員による巡回指導・面談相談	幼稚園生活での園児の様子を観察し、発達に基づく話し合い、指導を行い、保育内容の充実を図ります。	発達検査 240人 面接 290人 行動観察 1,228人 幼稚園教員研修 4回	教育政策課	65	心理判定員による巡回指導・面談相談
40	園児の健康管理	園児の内科、歯科、耳鼻咽喉科等の検診を行い、発達状況を把握し、保護者と連携をとりながら、健やかな成長を促します。	公立(対象者(在籍者)1,234人)受診者 眼科検診 113人、耳鼻科検診 176人、ぎょう虫検査 1,233人、尿検査 1,276人 歯みがき指導 1,225人 眼科検診及び耳鼻科検診の受診者は、健康調査票による異常回答者 私立(対象者(在籍者)2,002人)受診者 ぎょう虫検査 1,719人、尿検査 1,954人、内科検診 2,002人、歯科検診 1,983人	教育政策課	65	子どもの健康管理
40	小学校への円滑な移行のために保・幼・小の連携	幼児期の教育と小学校以降の教育との円滑な移行を図るため、幼稚園・保育所・小学校間の連携に努めます。	幼・小連携実施園 13園のうち13園 保・幼・小連携実施園 13園のうち2園	教育政策課	65	小学校への円滑な移行のための保・幼・小の連携

第3節 子どもの人権を尊重し、豊かな個性を育む環境づくり

計画書掲載ページ	茨木市次世代育成支援行動計画(前期)掲載内容		21年度の取り組み及び実績	担当課 (平成22年4月1日以降)	後期計画掲載内容	
	事業	今後の計画・方向性			掲載ページ	事業
40	私立幼稚園との連携	就園機会の拡充を図るため、私立幼稚園児の保護者に対する適切な助成に努めます。	私立幼稚園就園奨励費補助金 2,154人、179,408,300円 私立幼稚園等在籍園児保護者補助金 3,353人、194,383,140円	教育政策課	65 85	就園助成
41	学校施設の整備・充実	教育を充実させるために老朽化した施設の整備、設備の充実に努めます。	耐震補強、エレベーター新設、エアコン新設、給食場改修、プール改修などの工事を実施。 耐震補強工事：小学校 6校 中学校 2校 エレベーター新設：小学校 1校 中学校 1校 エアコン新設：小学校 特別教室 中学校 全校の普通教室に設置 給食場改修：小学校 1校 プール改修：小学校 2校	施設課	66	学校施設の整備
41	教育内容の充実	きめ細かな個に応じた指導を継続して充実させます。 (基礎・基本の徹底、自ら学び自ら考える力の育成、学習意欲の向上、豊かな心の育成)	「学びのシンポジウム」の実施(全体会、分科会3会場) 2年目教職員のための授業づくり研修会の実施 3回 各学校における校内研修回数 483回	学校教育推進課	66	「個」を大切にしている教育
41	生徒指導の研究	教師と児童・生徒との信頼関係及び児童・生徒相互の好ましい人間関係を育てるとともに、一人ひとりの児童・生徒の理解を深め、生徒指導を継続して充実させます。	教育相談担当教員の研修 5回 生徒指導主事の定例会の実施 7回 生徒指導に関する教員研修会の実施 8回	学校教育推進課	66	「個」を大切にしている教育
41	いじめ・不登校対策委員会の機能強化	関係機関や専門家と連携し、課題解決に向け継続して学校体制で取り組みます。	教育委員会に「学校応援サポートチーム」を設置して、いじめの未然防止や緊急対応等を実施。	学校教育推進課	67	いじめ・不登校への取組
41	人権教育の充実	「茨木市人権教育推進プラン」に基づき、継続して児童・生徒や学校の実態に応じた人権教育を推進し、人権問題への正しい理解と人権を尊重する態度・生き方を育みます。	人権をテーマにした作品の募集と作品集の作成 500部 応募作品数 ポスター・絵画 447点、標語 473点、作文・詩 333点 人権作品発表会の参加人数 100人 教職員対象の人権教育研修会の実施 9回	学校教育推進課	66	人権教育への取組

第3節 子どもの人権を尊重し、豊かな個性を育む環境づくり

計画書掲載ページ	茨木市次世代育成支援行動計画(前期)掲載内容		21年度の取り組み及び実績	担当課 (平成22年4月1日以降)	後期計画掲載内容	
	事業	今後の計画・方向性			掲載ページ	事業
41	安全確保の取組	各学校で作成した危機管理マニュアルの徹底と、保護者・地域と一体となった安全対策に継続して取り組みます。	子どもの安全見守り隊を組織し、登下校の安全を守る。 市内全32小学校 構成員合計1,814人 スクールガードリーダーの校区内安全巡視 各小学校2回×32校 合計64回	学校教育推進課	84	登下校の見守り活動への支援
41	茨木市研究指定校事業	新たな教育課題に対応するため、研究学校を指定し、研究実践の成果を市内小・中学校に広める取組を継続して実施します。	本事業については、平成19年度をもって事業終了。	学校教育推進課	後期計画書に不掲載	
41	特色ある学校づくり推進事業	各学校の自主的・自律的な取組により、地域の教育資源の活用などを通して「特色ある学校づくり」をめざし、継続して実施します。	地域人材を活用した回数 7,246回 外部講師を招聘した校内研修会 234回	学校教育推進課	66	特色ある学校づくり
41	茨木市中学校区人権教育協同推進研究学校事業	子どもたちの発達に応じた系統的な人権教育の推進のために、中学校区を指定し、協同で人権教育の研究、実践成果の発信に継続して取り組みます。	「つながりをつくり出す教育をめざして」を研究主題として、人権教育を推進。 先進校への視察 講師を招聘して、小中合同研修会 公開授業3回、公開授業研究会55人参加 夢ふれあいフェスタの開催(2,800人参加)	学校教育推進課	66	人権教育への取組
41	一般教員研修事業(セクシュアル・ハラスメント研修、人権教育研修会)	子ども自身が暴力から自分を守る力をつけるために「人権教育講座」として教職員対象の体験的研修を実施し、教職員が資質を高める取組を継続して実施します。	人権教育研修会6回実施。 受講教職員数 延べ348人	学校教育推進課	66	教職員の研修
41	教職員研修事業	市立小・中学校教職員への研修を実施し、指導力の向上に継続して努めます。	研修会実施回数143講座 参加人数 延べ4,727人	教育研究所	66	教職員の研修

第3節 子どもの人権を尊重し、豊かな個性を育む環境づくり

計画書掲載ページ	茨木市次世代育成支援行動計画(前期)掲載内容		21年度の取り組み及び実績	担当課 (平成22年4月1日以降)	後期計画掲載内容	
	事業	今後の計画・方向性			掲載ページ	事業
41	茨木市公立中学校進学対策委員会交付金事業	市立中学校進学対策委員会の機能の活性化と、学校間の情報交流及び進路指導と進学対策の充実を図り、すべての生徒の進路選択を継続して支援します。	茨木市進学対策委員会を開催 9回 第1学区東ブロック進路協議会を開催 8回 私立高校入学合同説明会を開催 5日間 第1学区東ブロック進路担当者会の開催 1回	学校教育推進課	67	進路・進学の支援
42	茨木市就職指導委員会交付金事業	市立中学校の就職希望生徒の職業指導及び事後指導の充実を図り、すべての生徒の進路選択を継続して支援します。	就職指導委員会を3回開催。 就職相談会の実施。 就職する生徒を励ます研修会の実施。 就職指導担当教員による施設見学会の実施。	学校教育推進課	67	就職の支援
42	中国帰国児童生徒適応学級事業	中国帰国児童生徒が習得している貴重な文化体験、母語を生き、社会で生きる力を育むため、継続して実施します。	毎週金・土曜日に開講 年間35回実施 入級児童生徒数 39人	学校教育推進課	67	帰国児童生徒の支援
42	外国人保護者通訳事業	日本語の理解が困難な外国人保護者に対して、授業参観、懇談、家庭訪問等の際に通訳を派遣を支援します。	対象児童生徒数 30人 保護者通訳派遣回数 103回	学校教育推進課	67	外国人保護者への通訳派遣
42	英語版・中国語版入学ハンドブック作成事業	小学校の入学に関するガイドブックの英語・中国語翻訳版を継続して作成し、帰国・渡日した子どもと保護者が安心して就学できるように努めます。	継続活用。	学校教育推進課	67	外国語版入学ハンドブックの作成
42	教育相談 電話教育相談 <再掲>	児童、生徒の学習、性格、行動、身体、発達、進路等の教育に関する相談窓口として、電話・面接による相談事業を継続して実施します。市民への周知を図り、利用しやすい窓口として充実に努めます。	相談件数 延べ1,541件 電話相談件数 延べ183件 出張教育相談 延べ28件	教育研究所	55 67	教育相談

第3節 子どもの人権を尊重し、豊かな個性を育む環境づくり

計画書掲載ページ	茨木市次世代育成支援行動計画(前期)掲載内容		21年度の取り組み及び実績	担当課 (平成22年4月1日以降)	後期計画掲載内容	
	事業	今後の計画・方向性			掲載ページ	事業
42	いじめ・不登校対策委員会の機能強化<再掲>	各学校のいじめ・不登校対策委員会を中心に、専門機関と連携を図り、迅速に問題解決に対応できるよう機能の強化に継続して努めます。	教育委員会に「学校応援サポートチーム」を設置して、いじめの未然防止や緊急対応等を実施。	学校教育推進課	67	いじめ・不登校への取組
42	茨木市スクールカウンセラー派遣事業	いじめ・不登校等児童生徒の悩みなどに対応するため、専門的な知識や経験のあるスクールカウンセラーを継続して派遣し、児童・生徒・保護者及び教師へのカウンセリングの充実に努めます。	4人のスクールカウンセラーを小学校18校に派遣、また小学校のケース会議等にスクールカウンセラーを派遣し、よりきめ細かい対応を実施。	学校教育推進課	67	いじめ・不登校への取組
42	「いじめ」ホット電話相談<再掲>	子どもへの周知を徹底し、利用しやすい窓口として充実を図り、いじめ問題の早期解決と解消に継続して努めます。	相談件数 延べ82件	教育研究所	68	子ども本人からの相談
42	適応指導教室「ふれあいルーム」<再掲>	不登校の児童・生徒がカウンセリングや様々な活動を通し、自立できるよう今後も継続して実施します。	不登校児童・生徒を対象に、教科指導や体験学習を実施。訪問指導等の学生ボランティアの派遣 延べ603回 不登校教育相談 延べ226件	教育研究所	68	専門カウンセラーによる相談・指導
42	ひきこもりに関する関係機関ネットワークの整備	大阪府との連携を図り、関係機関のネットワークを整備します。	教職員・指導主事が研修会に参加。	学校教育推進課	68	ひきこもりに関する関係機関ネットワーク
42	教育相談指導事業	専門カウンセラーによる相談、適応指導教室の開設、引きこもり児童生徒家庭訪問指導、別室登校児童生徒支援等の充実を図ります。	相談事業総件数(来所・電話) 5,476人 不登校児童生徒支援室(入級者・仮入級者) 19人	教育研究所	68	専門カウンセラーによる相談・指導

第3節 子どもの人権を尊重し、豊かな個性を育む環境づくり

計画書掲載ページ	茨木市次世代育成支援行動計画(前期)掲載内容		21年度の取り組み及び実績	担当課 (平成22年4月1日以降)	後期計画掲載内容	
	事業	今後の計画・方向性			掲載ページ	事業
43	就学相談・指導の適正な実施	本人や保護者の意向を尊重しながら、障害等の状態に応じた適切な就学相談・指導を実施します。	就学相談の実施 280回 就学指導委員会の開催 8回	学校教育推進課	68	就学相談・指導
43	巡回相談・発達相談・特別教育相談の実施	小・中学校を巡回し、障害のある児童・生徒への教育的支援について専門的助言を行い、生活や学習上の困難の改善に継続して取り組みます。また、発達・成長について悩みを有する児童・生徒の保護者、教員に対する専門家による相談の充実を継続して図ります。	巡回相談47校133回 発達相談 延べ2,650件 特別教育相談 相談総件数53件 特別支援教育アドバイザーによる巡回 5校 18回	教育研究所	68 79	巡回相談・発達相談・特別教育相談
43	乳幼児とのふれあい・交流機会の充実	次代の親に近い世代である中学生や高校生が乳幼児とのふれあい体験を通じて、子どもを産み育てることや生命の大切さなどを学ぶことができるよう、総合的な学習の時間などを活用して事業の充実を図ります。	職場体験学習として中学校14校が保育所等で乳幼児とのふれあい体験を実施。	学校教育推進課	69	乳幼児とのふれあい・交流
44	子ども会活動、青少年会の各種活動や行事等の開催	地域の子どもの自主性や社会性を養うために、スポーツ活動、環境活動、高齢者との交流活動や行事等を開催し、子どもへの参加の促進を図ります。	(結成子ども会数) 266子ども会 (小学生加入率) 57.2%	青少年課	69	子ども会活動の支援
44	スポーツ少年団の育成	地域社会の中で、スポーツを通じて子どもの健全育成を図ります。組織の充実に努めます。	登録者数772人	スポーツ振興課	70	スポーツ少年団の育成
44	各種スポーツ・レクリエーション大会・教室の開催	仲間や参加者とのコミュニケーションを図り、スポーツへの愛好心を育てるために、スポーツ・レクリエーションに親しむ機会となる行事等を開催し、参加の促進を図ります。	4月、9月の2回実施(耐震工事のため) 親子体操教室(A:60組)(B:63組) 器械体操(A:100人)(B:100人)	スポーツ振興課	70	各種スポーツ・レクリエーション大会・教室

第3節 子どもの人権を尊重し、豊かな個性を育む環境づくり

計画書掲載ページ	茨木市次世代育成支援行動計画(前期)掲載内容		21年度の取り組み及び実績	担当課 (平成22年4月1日以降)	後期計画掲載内容	
	事業	今後の計画・方向性			掲載ページ	事業
44	図書館での各種行事の開催	子どもの視野を広め、豊かな情操を養うために、おはなし会やおもちゃ作り、映画会等の行事を開催し、子どもの健全な育成を図ります。	おはなし会活動 14,754人 読書活動を啓発する講習・講演会 1,849人 子ども対象の行事 3,017人	中央図書館	70	図書館各種行事
44	夏休み子ども1日図書館員の開催	図書館の仕事を知るとともに図書館に親しみ、図書館の利用の促進を図ります。	中央図書館 3日間 30人	中央図書館	70	図書館各種行事
44	茨木市国際親善都市協会青少年活動室	歌やゲームを通して、楽しみながら英語を学び、子どもの国際感覚と英語力の養成に努めます。	英語で自己紹介&イースターエッグハント、英語で映画鑑賞、ハロウィンパーティー、クリスマスパーティー、英語でクッキングをテーマに8回開催。 参加人数 138人	市民活動推進課	70	青少年の国際感覚と英語力の育成
44	こどもエコクラブ活動への支援	環境を大切に作る心と行動力を育むため、登録された子どもたちのグループが地域の中で取り組むリサイクル等の学習や環境保全活動を支援します。	クラブ数43、会員数 114人、サポーター数 124人 環境活動支援事業 7回 環境活動実施のための事前のサポーター連絡会 2回	環境政策課	70	こどもエコクラブ活動の支援
44	姉妹・友好都市との青少年交流の促進	スポーツ・文化等の様々な交流機会を設け、子ども同士の交流を通じて、連帯感や協調の精神・国際感覚の養成に努めます。	フレンドリーキャンプ(受入) 111人 オリーブキャンプ(訪問) 37人 中学生リーダーキャンプ(受入) 新型インフルエンザのため中止。	青少年課	70	姉妹・友好都市との青少年交流
44			新型インフルエンザの影響により、姉妹友好都市との交流は全て中止。	市民活動推進課	70	姉妹・友好都市との青少年交流



第3節 子どもの人権を尊重し、豊かな個性を育む環境づくり

計画書掲載ページ	茨木市次世代育成支援行動計画(前期)掲載内容		21年度の取り組み及び実績	担当課 (平成22年4月1日以降)	後期計画掲載内容	
	事業	今後の計画・方向性			掲載ページ	事業
44	青少年野外活動センターの活動	子ども同士の連帯感の育成と自然の大切さを感じる心を育むことを体験できる場を提供するとともに、青少年活動の指導者の育成を行い、子どもの健全育成を支援します。	春のキャンプフェスティバル、春の高校生ボランティアキャンプ、ジュニアリーダー研修会、沢池西ジュニアリーダー研修会、中学生リーダーキャンプ、高校生リーダーキャンプ、高校生ボランティアキャンプ、トムソーヤキャンプ、ファミリーキャンプ、なかよしキャンプ、いばらきフレンドリーキャンプ、こども会キャンプ、家族招待キャンプ、秋の高校生ボランティアキャンプ、秋のキャンプフェスティバル、市民森づくりキャンプ、その他のキャンプ年間10,546人(宿泊5,787人、日帰り4,759人)	青少年課	70	青少年の野外活動
44	青少年センター各種行事の開催	子どもの個性・興味・関心を伸ばし、知的好奇心およびスポーツやレクリエーション活動を支援します。演劇鑑賞や各種チャレンジ教室など、子どもの発達にむけた機会の提供・支援をします。	【上中条青少年センター】 ふれあい劇場 1回 280人、ミキシング講習会 2回 延べ29人、スポーツ中央大会 1回 900人、三島ブロック交歓会 1回 90人、百人一首カルタ大会 1回 275人、スクリーンシアター 1回 110人	青少年課	70	青少年センター行事
44			平成21年度事業廃止。 豊川・沢良宜・総持寺青少年センターは、平成21年7月1日から廃止。豊川・沢良宜青少年センターは、豊川・沢良宜いのち・愛・ゆめセンターの分館となり、総持寺青少年センターは、総持寺いのち・愛・ゆめセンターに統合。	人権・男女共生課	後期計画書に不掲載	
44	子育て支援園舎・園庭開放事業	各幼稚園で園舎・園庭を開放し、子育て関係の講演会を実施しています。	市立13園で87回実施 参加人数 延べ4,833人	教育政策課	55	幼稚園地域開放
45	指導者への育成・研修	子どもの健全な心身の育成を進めていくために、こども会、青少年会、スポーツ少年団等の指導者の育成・研修の充実を図り、指導者の資質や指導力の向上に努めます。	キックベースボール講習会 百人一首カルタ講習会	青少年課	57	こども会等の指導者の育成
45	「ボランティアサークル小さな手」の活動	子どもたちの活動を支援するため、青少年野外活動センターの卒業生(社会人)からなるボランティア活動を推進します。	自主的な活動として展開。	青少年課	後期計画書に不掲載	

第3節 子どもの人権を尊重し、豊かな個性を育む環境づくり

計画書掲載ページ	茨木市次世代育成支援行動計画(前期)掲載内容		21年度の取り組み及び実績	担当課 (平成22年4月1日以降)	後期計画掲載内容	
	事業	今後の計画・方向性			掲載ページ	事業
45	地域ボランティアリーダー育成講座	青少年指導者の育成と研修を実施しています。	参加者が少なく効果が低いため、平成18年度に廃止。	青少年課	後期計画書に不掲載	
45	公園・児童遊園の整備・充実	身近な憩いやレクリエーションの場として、子どもや子ども連れが利用しやすい公園、児童遊園の整備を進めるとともに、緑化の推進に努めます。	公園整備事業:公園・緑地の改良・整備工事3か所	公園緑地課	71 84	公園等遊び場の整備
45	防犯体制の充実	子どもが安全に暮らせる地域づくりのために、警察や地域住民と連携した警備の強化、自主防犯意識の高揚に努め、防犯体制の充実と犯罪を引き起こさない環境づくりを推進します。	地域・安全茨木市民大会・防犯広報バレーの実施(1回)、ひったくり防止ネットの取り付けキャンペーンの実施(9回)、約1,800本のネット取り付け、広報横断幕の設置(少年非行防止、ひったくり防止)、「空き巣注意」プレート2,000枚配布、市広報誌による防犯広報記事の掲載、市ホームページによる防犯情報の発信 青色防犯パトロール車による警戒を実施(隊員数526人) 各防犯支部を主体とした防犯教室の開催(74回)	危機管理課	71 84	防犯に関する広報・啓発
45	青少年指導員による巡回街頭指導	茨木神社の祭、茨木フェスティバル、弁天花火大会でのパトロールを行い、青少年の健全育成に努めます。	実施回数 5回 参加者 延べ139人	青少年課	71 84	青少年を取り巻く環境の整備
45	青少年を取り巻く環境の整備	「青少年の健全育成に関する条例」に基づき、青少年を取り巻く社会環境の整備に努めます。	各中学校区青少年健全育成運動協議会員が深夜営業店等に青少年健全育成協力の依頼及び社会環境浄化活動関係チラシを配布。	青少年課	71 84	青少年を取り巻く環境の整備
46	「こども会」、「青少年団体」における子ども自身の活動の推進	社会との関わりを深め、子ども自らが豊かな人間性を育てられるよう、子どもたち自身が遊びや行事を企画・実施します。	地域の行事へ自主的に企画・準備に参加したり、土・日を中心に地域の方の協力を得て、廃品回収を実施。	青少年課	72	こども会・青少年団体の活動

第3節 子どもの人権を尊重し、豊かな個性を育む環境づくり

計画書掲載ページ	茨木市次世代育成支援行動計画(前期)掲載内容		21年度の取り組み及び実績	担当課 (平成22年4月1日以降)	後期計画掲載内容	
	事業	今後の計画・方向性			掲載ページ	事業
46	子ども議会の開催	次代になう子どもたちが、まちづくりに対して要望や意見を発言できる場を提供し、地域社会への関心を高めるため、今後も実施します。	「子ども議会」から事業を見直し、新しく「子ども学習 未来へ発信！」を実施。小学生が、総合学習等で取り組んだ内容を発表し、市長・理事者らと意見交換を実施。市内4校から参加児童71人	広報広聴課	72	子どもたちとの市政についての意見交換
46	まちづくり塾「小・中学校コース」の実施	子どもたちの「まち」や「まちづくり」への関心を高め、将来のまちづくりにない手としての成長を期待し、体験型の学習の場として企画し、継続して実施します。	市内の小学3年から中学3年生を対象に、「まちをつくろう」をテーマにまちづくり塾「小学生コース」を実施。 開催日 8月18・19・20日 参加者37人	まちづくり支援課	72	子どもたちの体験型まちづくり学習
46	アイデアボックス	市民と共に考えるまちづくりをめざし、子どもから大人まで広く市民から市政に対するアイデアを募り、今後の市政運営の参考にするため、実施します。	4月1日～3月31日 受付件数 116件、実現件数 3件	広報広聴課	72	子どもたちとの市政についての意見交換
46	「児童の権利に関する条約」の啓発・普及	子どもの保護と基本的人権の尊重を促進するために、「児童の権利に関する条約」の啓発・普及に努めます。パンフレット、学習会の開催等において、子どもも含め啓発を行います。	(財)人権教育啓発推進センター作成のパンフレット「子どもの権利」を配布(人権推進課窓口)。	人権・男女共生課	72	子どもの権利に関する啓発・普及
46	子どもの人権相談体制の構築「子育て相談」<再掲>	豊川・沢良宜・総持寺青少年センターでは、不登校、しつけ、子育てについての相談などについて、専門的な見地から指導に努めます。	平成21年度事業廃止。 豊川・沢良宜・総持寺青少年センターは、平成21年7月1日から廃止。豊川・沢良宜青少年センターは、豊川・沢良宜いのち・愛・ゆめセンターの分館となり、総持寺青少年センターは、総持寺いのち・愛・ゆめセンターに統合。	人権・男女共生課	後期計画書に不掲載	
47	子どもの主体性、自主性を尊重した保育環境づくり	保育者は子どもの一人ひとりの特性を配慮し、保育のねらい、内容に基づき、子どもが自ら環境とかかわって自発的・意欲的活動を創造・展開し、その活動の中で望ましい体験が得られるように人的、物的環境を整え、必要な援助をするよう努めます。	茨木市人権保育カリキュラムを基に、子どもの自主性、主体性を大切にする人権保育を実施。	保育課	63	「個」を大切にする保育

第3節 子どもの人権を尊重し、豊かな個性を育む環境づくり

計画書 掲載 ページ	茨木市次世代育成支援行動計画(前期)掲載内容		21年度の取り組み及び実績	担当課 (平成22年4月1日以降)	後期計画掲載内容	
	事業	今後の計画・方向性			掲載 ページ	事業
47	家庭・地域社会との連携	子どもや家庭を取り巻く地域社会とのつながりを深め、地域に支えられ、地域に開かれた保育の実践を行うよう努めます。	各保育所・園で、地域開放を実施。	保育課	55	保育所地域開放
47	保育所職員への研修<再掲>	人権を大切にする心を育てる保育を適切に行うために研修を実施し、職員の人権問題への正しい理解と認識を深めていきます。	全保育所職員を対象に、年間8回人権保育研修を実施。	保育課	64	保育所職員の研修